

拠出金名：メコン河委員会拠出金

国際機関等名	メコン河委員会 (英文名称・略称) Mekong River Commission (MRC)					
種 別	国連(事務局)		国連(基金・計画)		国連専門機関	その他
所轄官庁担当局課名	農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
最近3年間の我が国支払額及び拠出率、ODA率(注1)						
	金 額				拠出率(%)	ODA率(%)
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レ ー ト		
平成17年度	36,551	342		1\$ = 107 円	(2005年) 100	100
平成16年度	29,592	269		1\$ = 110 円	(2004年) 100	100
平成15年度	32,820	269		1\$ = 122 円	(2003年) 100	100
拠出上位5ヶ国						
	国 名	金額(千ドル)	率(%)	国際機関等の財政(注2) (2005年度決算)		
1位	日本	342	100	当該年度の収入 22,006,197ドル		
2位				当該年度の支出 13,030,897ドル		
3位				次年度への繰越 8,975,300ドル		
4位				会計検査機関名		
5位				KPMG Lao Co., Ltd		
上記の率及び順位は2005年のもの				(現在の構成員の出身国:)		
当該機関に対する我が国としての評価(当該国際機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)						
・メコン地域開発に関する常設の事務局を持つ唯一の国際機関として、関係国・地域及び機関間相互の調整、協調の場としての役割が大きい。 ・地域の持続的開発の基盤となる環境及び水資源管理を扱う機関として果たす役割が大きく、メコン地域における基礎食糧の確保、貧困の解消、政治的な安定に大きく寄与している。 ・流域国(加盟国)内の会合や、流域国とドナーとの対話の場であるドナー協議会、非公式ドナー協議会を定期的に実施しており、我が国を含む各ドナーの意見を計画に反映させてきており、地域開発におけるプロジェクト実施・調整機能の高まりに向けた努力は評価できる。						
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価						
「2006－2010年戦略計画」によれば、メコン河流域開発における加盟国及びドナーとの対話の促進と、効率的な活動の実施を目標の一つに掲げ、右を実現するためにメコン河委員会及び加盟国のキャンペーン・ビルディングを目的とするプログラムを実施しているところ、今後事業の合理化及び機能強化が一層進んでいくものと評価される。						
邦人職員数 うち幹部以上	2 人 うち 0 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		140人 1.4%		
邦人職員が占めている幹部ポスト						
ポストの名称		職 員 氏 名		備 考		
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画						
未定						

(注1) 農林水産省拠出分のみ。我が国からの拠出額(うち農林水産省拠出額)は次の通り。

平成16、17年度には外務省からも拠出あり。

平成17年度:342千ドル(342千ドル)、平成16年度:319千ドル(269千ドル)、平成15年度:269千ドル(269千ドル)

(注2) MRC全体の収支額で代用。